



東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

第 32 号のトピックス

2025-2026 年シーズン(2025 年第 36 週-2026 年第 24 週)のまとめ

・患者報告数 ・集団発生報告 ・ウイルス検出状況 ・検出ウイルスの遺伝子系統樹解析

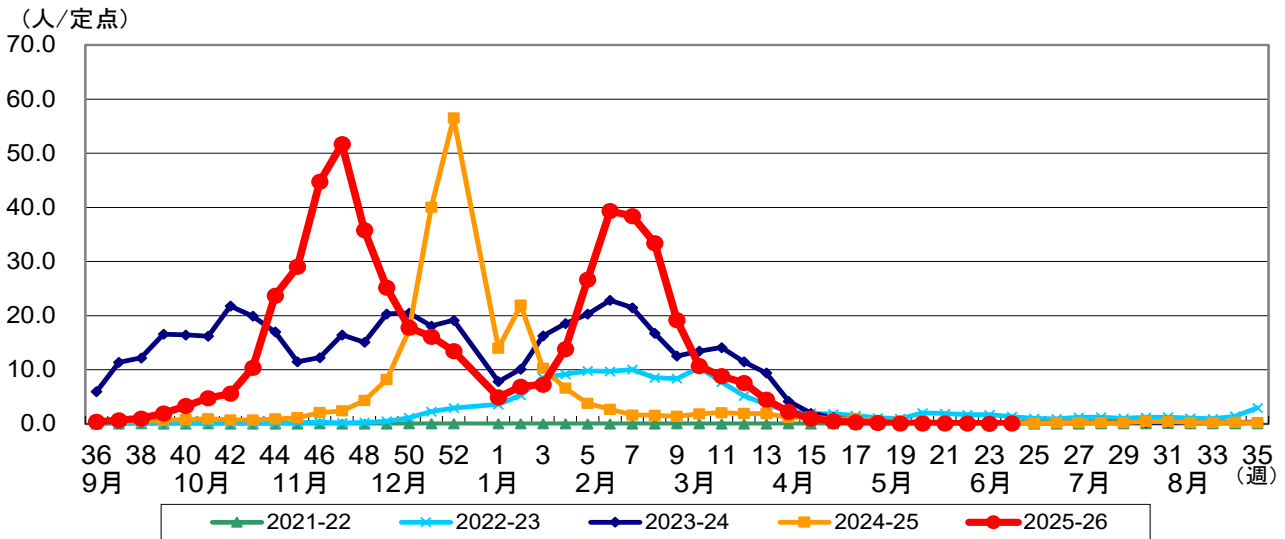


図1. 東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移

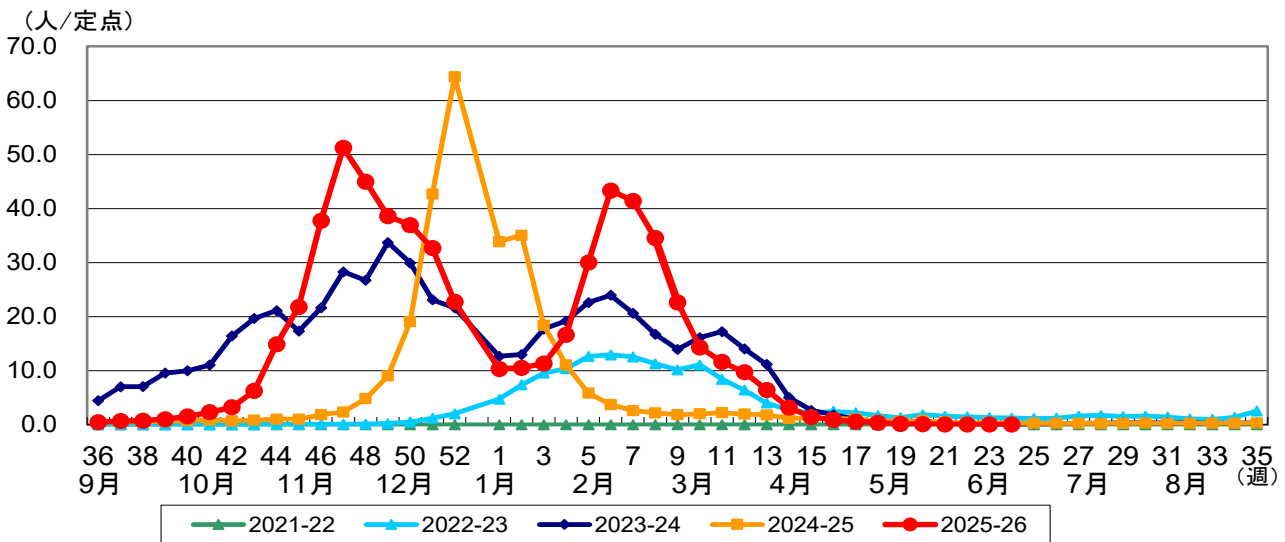


図2. 全国における定点当たり患者報告数の年別推移

2025-2026年シーズンまとめ

1. 定点当たりの患者報告数の推移

【東京都】 東京都における2025-2026年シーズン(以下、今シーズン)の定点当たり患者報告数は、2025年第39週(9月22日-28日)に流

行開始の指標となる1.00人を上回る1.96人となり、その4週間後の第43週(10月20日-26日)には注意報基準となる10.00人を上回る10.37人まで増加しました。さらに2週間後の第4

5 週(11 月 3 日-9 日)には 29.03 人まで増加し、警報基準となる 30.00 人は上回らないものの、30.00 人を上回る保健所管内の人口合計が東京都の人口全体の 46.18% と、30% を上回ったため、流行警報が発出されました。その後も定点当たり患者報告数は増加し、第 47 週(11 月 17 日-23 日)には今シーズンで最も多い 51.69 人となりましたが、第 48 週以降は減少に転じ、第 52 週(12 月 22 日-28 日)には 13.45 人まで減少し、さらに 2026 年の第 1 週(12 月 29 日-1 月 4 日)から第 3 週(1 月 12 日-18 日)には継続して 10.00 人を下回ったため、警報解除となりました。しかしながら、その後再び増加に転じ、第 4 週(1 月 19 日-25 日)には 13.83 人と、再び注意報基準を上回り、第 5 週(1 月 26 日-2 月 1 日)には 26.67 人と、再び警報基準(前述の 30.00 人を上回った保健所管内人口が都全体の 30% を上回ったため)を上回り、第 6 週(2 月 2 日-8 日)には 39.31 人と、再度の流行におけるピークとなりました。これ以降は徐々に減少し、第 11 週(3 月 9 日-15 日)には 8.82 人と、10.00 人を下回り、再びの警報解除となりました。この後も定点当たり患者報告数は継続して減少し、第 15 週(4 月 6 日-12 日)には 0.96 人と 1.00 人を下回り、第 24 週(6 月 8 日-14 日)現在では 0.06 人と、低い値で推移していることから、東京都における今シーズンの流行は終息したと考えられます(図 1)。

定点当たり患者報告数が警報基準を上回るのは、例年では 1 月から 2 月が多く、昨シーズンのように 12 月にみられたのは 10 年ぶりのことでした。今シーズンは、昨シーズンよりもさらに早い 11 月に警報基準を上回りました。11 月中に定点当たり患者報告数が警報基準を上回るのは、2009-2010 年シーズン以来 16 年ぶりのことでした。

また、今シーズンの東京都におけるインフルエンザの定点当たり患者報告数は、警報レベルに至る流行ピークが 2 回ありました。1 回目の流行では、2025 年第 45 週から第 52 週までの 8

週間、2 回目では 2026 年第 5 週から第 10 週までの 6 週間にわたって警報レベルとなりました。1 シーズン中に警報レベルの流行が 2 回起こったのは、2008-2009 年シーズン以来のことであり、これらのことから、今シーズン(第 24 週現在まで)の定点当たりの患者報告総数は、511.43 人と、2000 年以降で最も多い報告数となりました(図 3)。

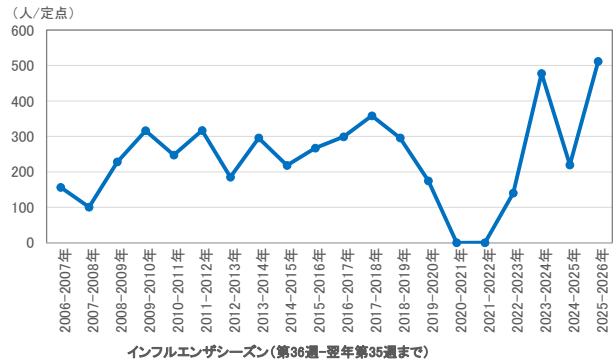


図3. 各シーズンにおける定点当たりの患者報告総数
(2000-2026年)

【全国】 全国における定点当たりの患者報告数は、東京都と同時期の第 39 週(9 月 22 日-28 日)に 1.04 人と 1.00 人を上回り、その後は東京都よりも 1 週遅い第 44 週(10 月 27 日-11 月 2 日)に 14.90 人と 10.00 人を上回りました。その後も増加し、第 46 週(11 月 10 日-16 日)には 37.75 人と 30.00 人を上回り、第 47 週(11 月 17 日-23 日)に 51.24 人と流行のピークを迎えました。これ以降、定点当たり患者報告数は 2026 年第 1 週(12 月 29 日-1 月 4 日)の 10.34 人まで減少しましたが、第 2 週(1 月 5 日-11 日)には 10.55 人と増加に転じ、第 5 週(1 月 26 日-2 月 1 日)には 30.03 人と、再び 30.00 人を上回りました。第 6 週(2 月 2 日-8 日)には 43.35 人と、再度の流行ピークとなりました。その後、定点当たり患者報告数は減少し、第 12 週(3 月 16 日-22 日)には 9.75 人と、10.00 人を下回り、東京都よりも 1 週遅い第 16 週(4 月 13 日-19 日)には 0.92 人と、1.00 人を下回りました。さらに、第 24 週(6 月 8 日-14 日)現在では 0.07 人と、低い値で推移していることから、全国においても流行は終息したと考えられます(図 2)。

2. 年齢階層別の患者報告数

今シーズンの患者報告数を年齢階層別にみると、5-9歳の年齢階層が最も多く、次いで10-14歳の年齢階層が多く報告されました(図4)。報告された患者数全体における5-9歳の年齢階層の割合は31.5%、10-14歳の年齢階層の割合は22.1%と、2つの年齢階層の割合は全体の53.6%を占めていました。同じ年齢階層割合について昨シーズンをみると、5-9歳は21.8%、10-14歳は18.0%と、およそ全体の40%でした。今シーズンの患者報告数における5-9歳及び10-14歳の年齢階層の割合は、昨シーズンよりも高くなっていました。

一方、20歳以上の年齢階層の割合をみると、昨シーズンは38.4%でしたが、今シーズンは22.5%と、昨シーズンよりも低くなっていました(図5)。

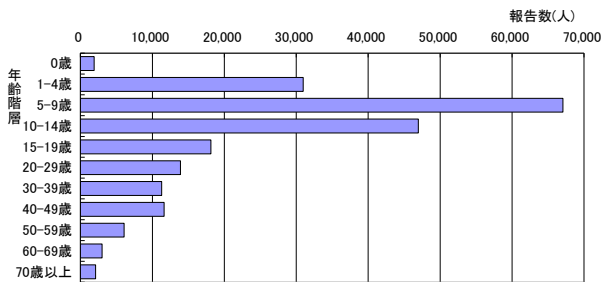


図4. 年齢階層別にみた定点医療機関からの患者報告数

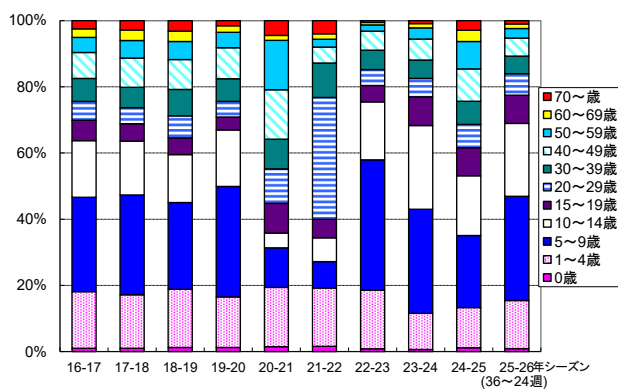


図5. 過去10シーズンにおける患者報告数の年齢階層割合 (2016-2026年)

3. インフルエンザによる入院患者報告数

今シーズンに基幹定点医療機関から報告のあったインフルエンザによる入院患者数は、1,431件(第24週現在)でした。入院患者報

告数は、今シーズン開始の2025年第36週から報告があり、定点当たり患者報告数が最も多かった第47週より1週早い2025年第46週に133人と最も多くの報告がありました(図6)。

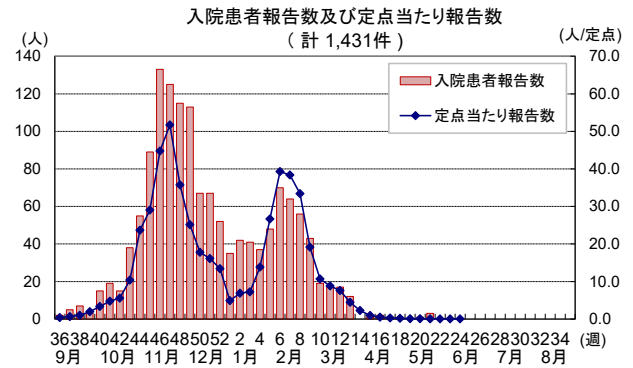


図6. インフルエンザによる入院患者の報告数

4. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

インフルエンザ様疾患による集団発生の報告数は、9,445件(第24週現在)でした。今シーズンの集団発生の内訳は、小学校が4,245件で最も多く44.9%、次いで保育所が2,814件で29.8%、続いて中学校が1,474件で15.6%、高等学校が349件で3.7%、幼稚園が290件で3.1%、社会福祉施設が223件で2.4%、その他の施設が29件で0.3%、医療機関が21件で0.2%でした。2025年第47週には、1,193件と最も多い集団発生報告がありました(図7)。

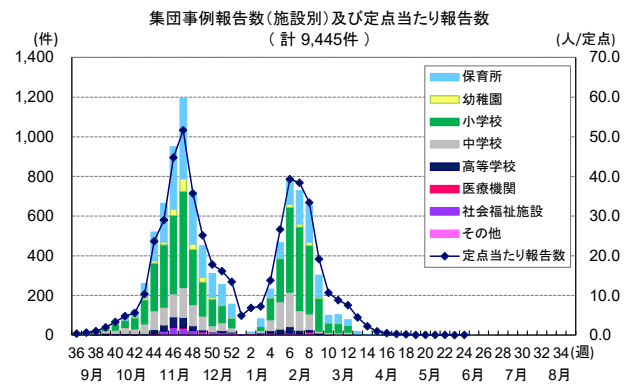


図7. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

5. ウイルス検出状況

2025年第36週から2026年第21週までに病原体定点医療機関から1,964検体が搬入され、739検体からインフルエンザウイルスが検出されました。検出されたインフルエンザウイルスの

内訳は、AH3亜型が438件、B型が286件、AH1pdmが15件でした(表1)。また、検出されたB型は全てVictoria系統でした。

今シーズンに検出されたインフルエンザウイルスは、シーズン当初はAH3亜型の検出数が多く、2026年第3週頃からはB型の検出数が多くなりました(図8)。

これらの結果から、第47週をピークとした1回目の流行は、主としてインフルエンザウイルスAH3亜型によるものであり、2026年第6週をピークとした2回目の流行は、主としてインフルエンザウイルスB型によるものであったことがわかりました。

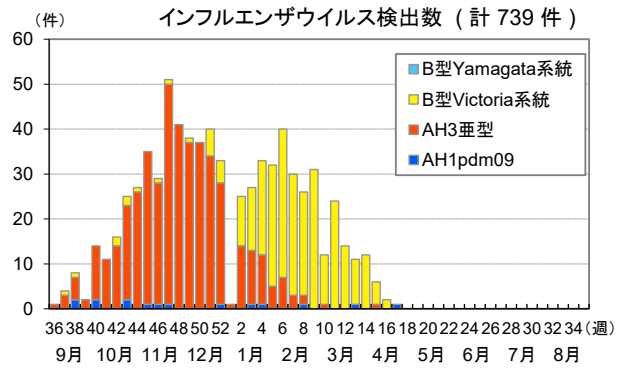


図8. 定点医療機関から搬入された検体におけるインフルエンザウイルス検出数の推移

表1. 定点医療機関により採取された検体の検査結果

検体採取週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス				
			AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統	B型系統不明
36週(9/1-7)	41	1		1			
37週(9/8-14)	50	4		3	1		
38週(9/15-21)	55	8	2	5	1		
39週(9/22-28)	35	2		2			
40週(9/29-10/5)	57	14	2	12			
41週(10/6-12)	53	11		11			
42週(10/13-19)	58	16		14	2		
43週(10/20-26)	64	25	2	21	2		
44週(10/27-11/2)	65	27		26	1		
45週(11/3-9)	63	35	1	34			
46週(11/10-16)	60	29	1	27	1		
47週(11/17-23)	73	51	1	49	1		
48週(11/24-30)	61	41		41			
49週(12/1-7)	71	38		37	1		
50週(12/8-14)	68	37		37			
51週(12/15-21)	61	40		34	6		
52週(12/22-28)	54	33	1	27	5		
1週(1/5-11)	3	1		1			
2週(1/12-18)	50	25		14	11		
3週(1/19-25)	62	27	1	12	14		
4週(1/26-2/1)	63	33	1	11	21		
5週(2/2-8)	57	32		5	27		
6週(2/9-15)	75	40		7	33		
7週(2/16-22)	52	30		3	27		
8週(2/23-3/1)	55	26	1	2	23		
9週(3/2-8)	53	31			31		
10週(3/9-15)	47	12		1	11		
11週(3/16-22)	54	24			24		
12週(3/23-29)	46	14			14		
13週(3/30-4/5)	37	11	1		10		
14週(4/6-12)	42	12			12		
15週(4/13-19)	49	6		1	5		
16週(4/20-26)	55	2			2		
17週(4/27-5/3)	41	1	1				
18週(5/4-10)	48	0					
19週(5/11-17)	20	0					
20週(5/18-24)	45	0					
21週(5/25-31)	21	0					
22週(6/1-7)		検査中					
23週(6/8-14)		検査中					
合計	1964	739	15	438	286	0	0

・インフルエンザ情報発行時点で検査結果が判明したものを掲載している。
・この他、ワクチンタイプ(経鼻弱毒生ワクチン由来タイプ)が6件検出されている。

6. 検出されたインフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹解析

2026年4月末までに遺伝子検査で検出されたインフルエンザウイルスAH1pdm09 15件、AH3亜型438件、B型Victoria系統286件のうち、AH1pdm09 10件、AH3亜型18件、B型Victoria系統20件について、HA遺伝子の分子系統樹解析を行いました。

AH1pdm09は、昨シーズン(2024-2025年シーズン)流行株は系統樹上で2つのクレード①とクレード②に分かれました(図9)。一方、2025-2026年シーズン流行株はワクチン株(A/Victoria/4897/2022)と同じクレード①に属しました。

AH3亜型の流行株は、昨シーズンの流行株やワクチン株(A/Perth/722/2024)とは異なる、subclade Kという亜系統に属しました(図10)。

B型Victoria系統の流行株は、昨シーズンの都内検出株およびワクチン株(B/Austria/1359417/2021)と近傍のクレードに属しました(図11)。

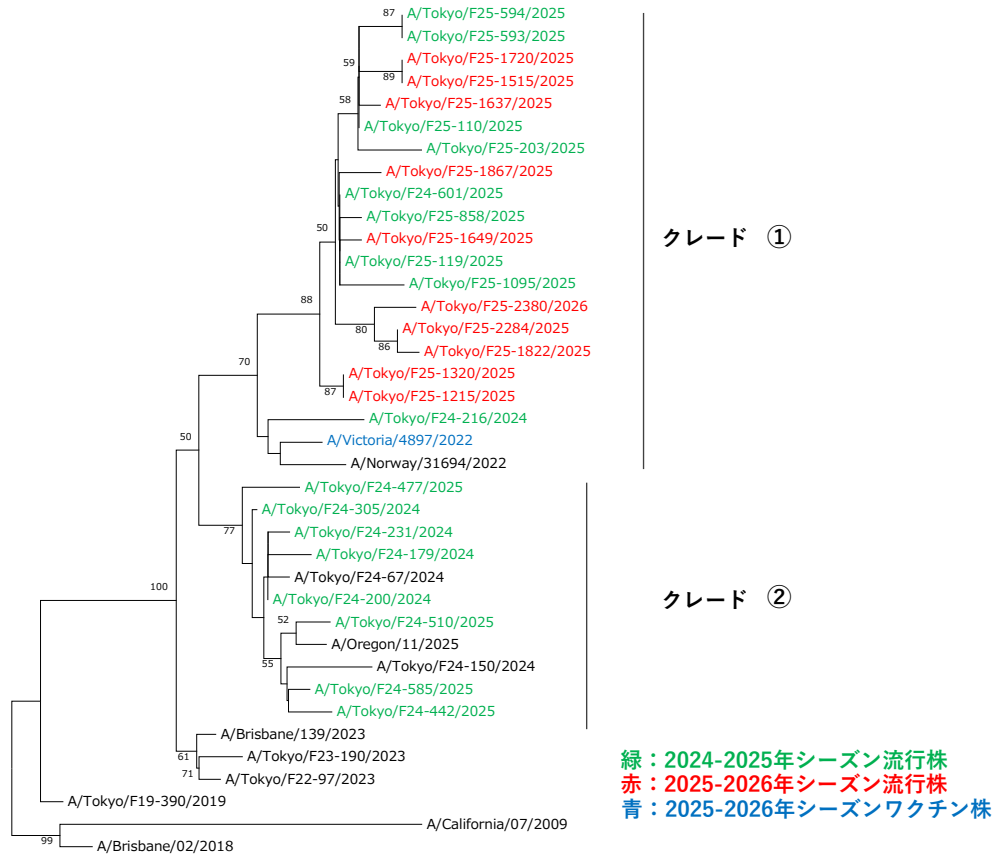


図9. 東京都で検出されたAH1pdm09インフルエンザウイルスのHA遺伝子の分子系統樹(ワクチン株含む)

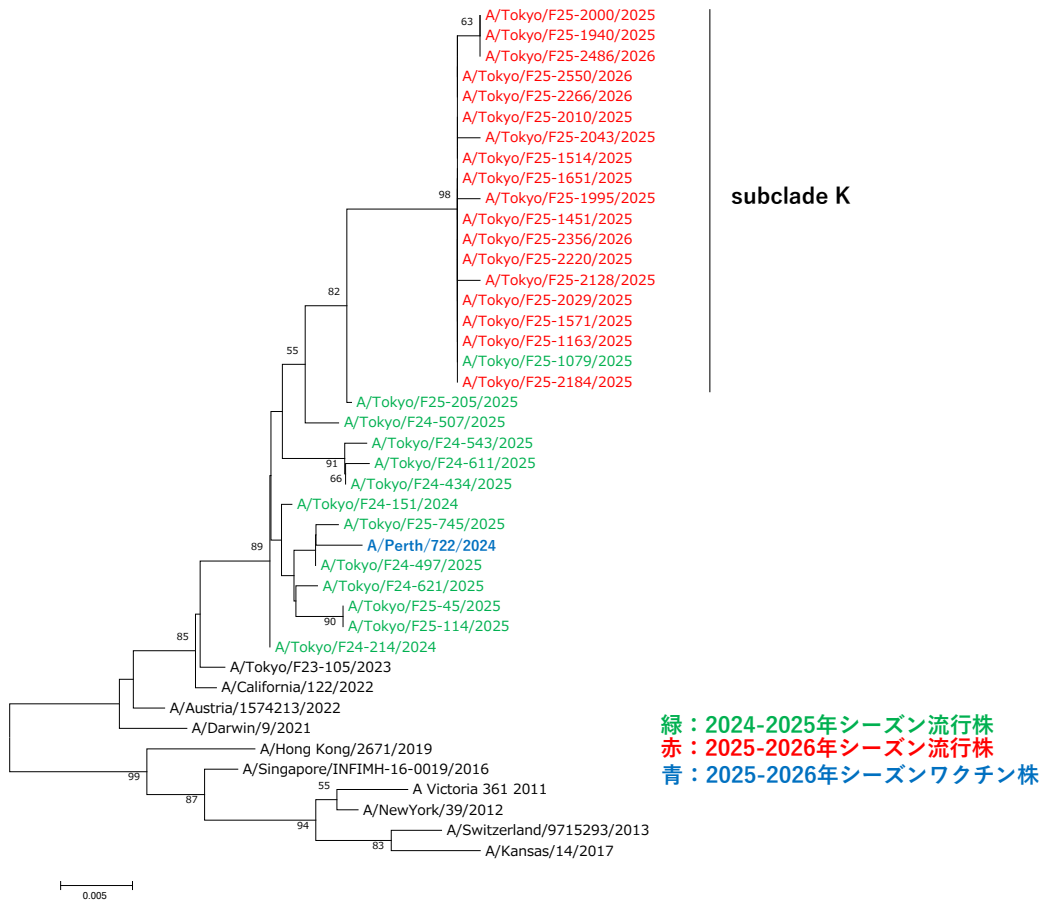


図10. 東京都で検出されたAH3亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子の分子系統樹(ワクチン株含む)

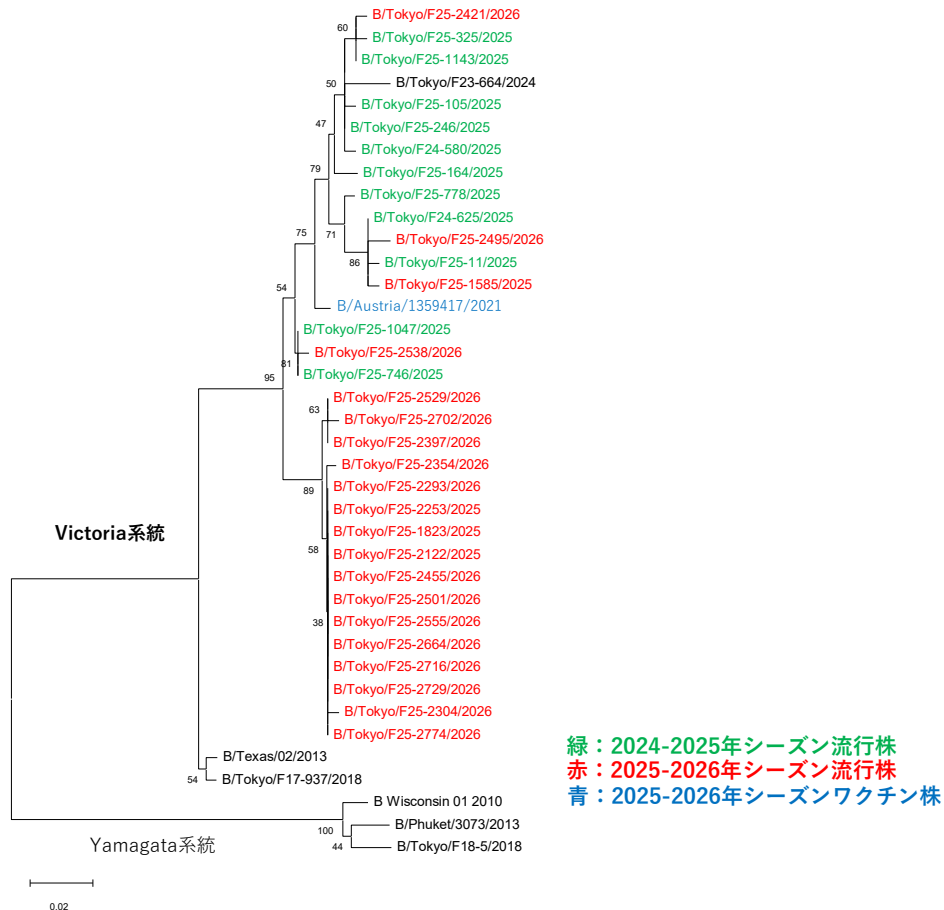


図11. 東京都で検出されたB型インフルエンザウイルスHA遺伝子の分子系統樹(ワクチン株含む)

インフルエンザウイルスHA遺伝子の分子系統解析については、以下にも掲載されていますので、ご参照ください。

◎東京都感染症情報センターホームページ
東京都微生物検査情報2026年4月号
「2025/2026シーズンの東京都におけるインフルエンザウイルス検出状況(2026年2月末現在)」

(<https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/assets/epid/2026/tbkj4704.pdf>)

2025-2026年シーズンのインフルエンザワクチン株

A型株

A/ビクトリア/4897/2022(IVR-238)(H1N1)
A/パース/722/2024(IVR-262)(H3N2)

B型株

B/オーストリア/1359417/2021(BVR-26)(ビクトリア系統)

2026-2027年シーズンのインフルエンザワクチン株

A型株

A/スイス/6849/2025(IVR-278)(H1N1)
A/ミシガン/105/2025(SAN-049A)(H3N2)

B型株

B/東京/EIS13-175/2025(ビクトリア系統)

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S1153803@section.metro.tokyo.jp

<https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/>

本号をもちまして、2025-2026年シーズンの最終号とさせていただきます。